

史跡 和歌山城 (和歌山市)

令和元年6月21日 国文化審議会 追加指定答申

和歌山城

天正13年(1585)に羽柴(のち豊臣)秀吉が、弟の秀長に命じて築城したのが始まりです。浅野幸長の城郭整備を経て、元和5年(1619)に徳川家康の十男の頼宣が和歌山城主になったことにより、御三家の居城としてふさわしい城郭に整備されました。昭和6年(1931)3月30日に国史跡に指定されています。

追加指定地

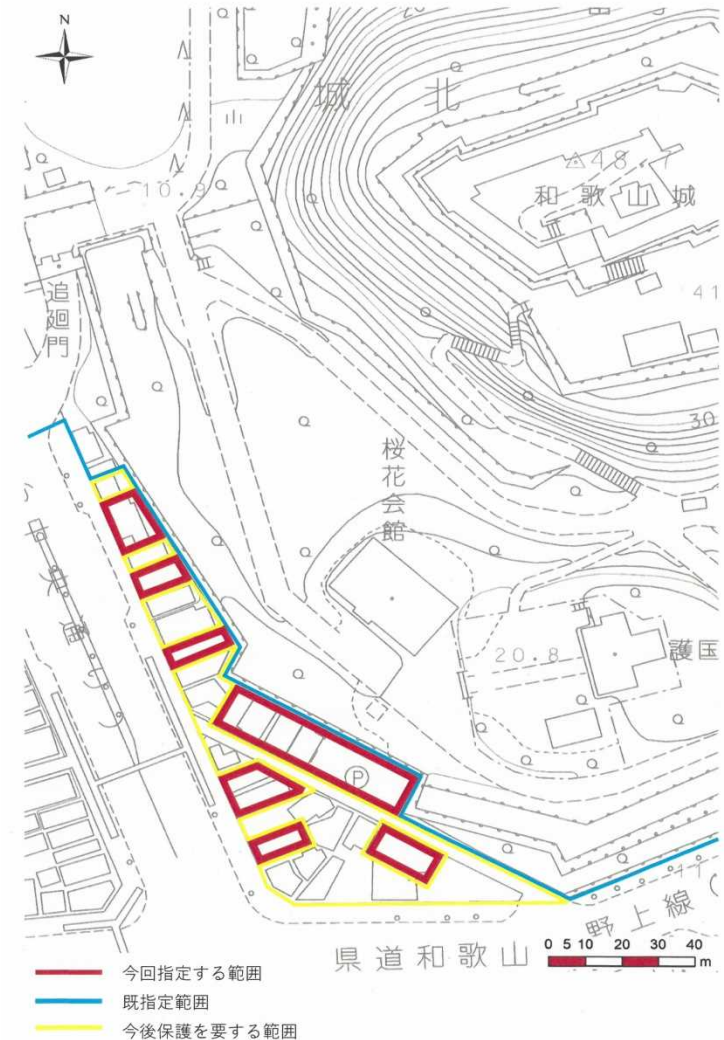
和歌山城南西にあった扇の芝と呼ばれた場所の一部
(北側の一部は平成30年10月15日に追加指定)

追加指定地面積

1,338.78㎡ (追加指定後面積 208,862.35㎡)



扇の芝 遠景



追加指定地の位置